

2024年6月

研修がスタートして、約3か月が経ちました。診療科のローテーションや当直業務にも少しずつ慣れ始め、一緒に対応していただいている指導医、上級医の先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。

6月は4名の医学生が見学・実習による対応や釧路赤十字病院主催の外科セミナーに参加、小笠原副院長による総合講座と目まぐるしい中でも充実した日々だったと思います。

特に総合講座ではICについて、ただ単に病状を告げ、同意書をとるだけでなく、理解・納得できるように医師目線ではなく患者の目線で互いに情報共有し、合意していただくことが重要だと3人の研修医も熱心に耳を傾けていました。

また、4月に札幌で開催された「道プレ」で盛況だった釧路ブースがNHK記者の「お目に留まり」6月初旬から下旬にかけて、指導医・専攻医、初期臨床研修医に密着取材が入り、「医師不足がますます厳しくなる状況の中で、研修医をどのように育て、若き研修医がどのように活躍されているか」をテーマに6月29日(土)7時30分からNHK総合「おはよう北海道」にて特集放映されました。



6月11日(火) 釧路赤十字病院にて
「外科セミナー」基礎編に参加



6月18日(火) 釧路赤十字病院にて 応用編



6月25日(火) 小笠原副院長による総合講座

